

中央大学法科大学院（大学院法務研究科）
2023年度入学者選抜 法学未修者コース 小論文筆答試験 出題趣旨

ウイルスを題材にした半世紀以上前に執筆された文章を素材にして、出願者の論理的思考力、理解力及び表現力等を判定することを意図して、出題した。

問1は、文章を読み解き、内容をまとめ、表現する力を判定するための設問である。

「生物」と「無生物」の間で明確な線引きができるように見えても、それぞれの特徴を併有するがゆえに、両者のどちらにも属する（あるいは属さない）と言いうるケースが存在する。そのことを、ウイルスを素材にして、文章中の指摘を踏まえながら、説明する必要がある。

問2は、文章の主旨を踏まえ、それを応用する過程で示される思考や表現から、論理的思考力や表現力等を判定するため、出題した。

設問文では、解答の形式について一定の指示がされているから、その指示に従い、自ら提示した二つの概念について定義をしたうえで、特定のケースが、各概念を構成している諸々の要素のうち、その一部を併有していることを指摘する必要がある。そのうえで、相反する二つの概念のうちどちらに該当するのか、判然としない場合があることを示す必要がある。